

一般社団法人 埼玉県病院薬剤師会

2019年度 臨時総会

開催日時：2020年3月17日（火）午後6時30分より
開催場所：ソニックシティビル 6F 601号室

次 第

1. 会長演述 北澤 貴樹（小宮山医院）
2. 議長、副議長の選出
3. 議事
 - （1）第1号議案 2020年度事業計画
 - （2）第2号議案 2020年度予算
 - （3）第3号議案 日病薬報告
第59回通常総会
第60回臨時総会
 - （4）第4号議案 その他
4. 閉会の辞 曾我部直美（済生会栗橋病院）

2020年度事業計画

【Ⅰ. 事業活動基本方針】

埼玉県民への正しいくすりの知識などの普及啓発活動および薬剤師を目指す学生への教育環境整備のための支援を行う。また薬学に係る業務・調査・研究および医薬品に係る情報提供等の実施により、会員および県内すべての薬剤師の知識と意識の向上を実現するため、研修会および講演会等を提供実施する。「チーム医療への参画と在宅医療への貢献」という観点をふまえ患者の立場に立った医療への貢献を図る。

【Ⅱ. 重点項目】

1. 埼玉県民への医療貢献
 - ①個々の県民が参加できる講演会の開催
 - ②個々の県民が相談できるシステムの実現
 - ③県民が地域で学習できるシステムの実現
2. 会員および県内すべての薬剤師、薬学生、薬事関連事業者への知識と意識の向上
 - ①医薬品の最新情報の提供
 - ②医療の質と安全の実現
 - ③チーム医療の推進
 - ④生涯教育の充実（他領域との合同研修）
 - ⑤薬学生教育の支援
 - ⑥薬事関連事業者への支援

【Ⅲ. 事業計画】

1. 埼玉県民への医療貢献
 - ①個々の県民が参加できる講演会の開催
県民のためのくすり講座、おくすり相談会の実施
 - ②個々の県民が相談できるシステムの実現
電話による薬相談、ホームページによる薬相談の実施
 - ③県民が地域で学習できるシステムの実現
各種団体、地域町内会からの依頼への出前講座

2. 会員および県内すべての薬剤師、薬学生、薬事関連事業者への知識と意識の向上

①医薬品の最新情報の提供

病院薬学研修会、ネットカンファレンス、地域ブロック研修会、スキルアップ研修会、向精神薬臨床研修会、学術大会、新任薬剤師研修会等で新しい医薬品を含めた情報提供、適正使用などの知識の普及啓発を行う。

②医療の質と安全の実現

薬剤師の専門性を踏まえ知識や実践力等の向上を目指し、臨床業務実践講座「糖尿病」、感染制御研修会、抗がん剤研修会（集中講義を含む）、輸液・抗がん剤調製実技研修会、埼玉緩和薬物療法研修会、精神科領域臨床研修会、精神科薬物療法研修会、妊婦授乳婦・小児科領域研修会、輸液・栄養管理研修会、医療の質・安全管理研修会、その他会員の要望に沿った特別な研修会などを行う。

③チーム医療の推進

近年の厚労省医政局長通知にある具体的項目を実施する手助けとなるよう各種研修会のテーマの中で服薬指導、処方支援、フィジカルアセスメント等を取り入れる。

④生涯教育の充実

薬剤師向けの研修会は生涯研修センターの担当委員会で企画・運営・評価を行い、研修単位の付与および認定薬剤師の認証を行う。

また、日本病院薬剤師会薬学認定薬剤師制度に参画する。

さらに、他領域との合同研修会を開催する。

⑤薬学生教育の支援

実習施設の確保や拡大を目的とした、認定実務実習指導薬剤師の養成ワークショップの開催並びに認定実務実習指導薬剤師の資質向上を目的としたアドバンスドワークショップを開催し、病院薬学実習における質の向上を行う。

⑥薬事関連事業者への支援

薬事関連事業者が医療制度の変革や技術進歩を薬事研修会で学ぶことで医療関係者との問題点の共有を図ることが重要であり、より大きな患者貢献が期待される。

第2号提案 2020年度予算

収支予算書内訳表

2020年4月1日から2021年3月31日まで

【当期予算】

勘定科目	令和2年予算案	平成31年予算案	増減	備考
経常増減の部				
(1) 経常収益				
正会員会費	7,720,000	7,640,000	80,000	4,000円×1,930名
賛助会員会費	2,280,000	2,280,000	0	30,000円×76名
特別会員会費	480,000	480,000	0	4,000円×120名
事業収益				
研修事業収入	5,300,000	5,000,000	300,000	各研修会
広告収入	200,000	250,000	△ 50,000	
受取補助金等				
日病票還付金	2,412,000	2,388,000	24,000	1,200円×2,010名
雑収益				
受取利息	10,000	10,000	0	預金利息
雑収入	200,000	400,000	△ 200,000	
経常収益計	18,602,000	18,448,000	154,000	
前期繰越収支益額	3,000,000	2,500,000	500,000	
	21,602,000	20,948,000	654,000	
(2) 経常費用				
事業費				
給与	1,800,000	1,800,000	0	職員給与
会場使用料	1,552,000	1,552,000	0	委員会等会場設営
会議費	1,025,000	925,000	100,000	
講演料	590,000	590,000	0	
通信運搬費	720,000	670,000	50,000	
印刷費	2,600,000	2,500,000	100,000	会誌、名簿
消耗品費	580,000	580,000	0	
負担金	320,000	320,000	0	関東ブロック、業界団体連合会
積立金	800,000	800,000	0	関東ブロック積立金
活動費	2,925,000	2,625,000	300,000	
雑費	380,000	380,000	0	
	13,292,000	12,742,000	550,000	
管理費				
給料手当	1,800,000	1,800,000	0	職員給与
社会費	150,000	150,000	0	
理事会費	570,000	570,000	0	
役員会費	200,000	200,000	0	
旅費交通費	350,000	350,000	0	出張費、職員通勤手当
通信運搬費	350,000	300,000	50,000	
備品費	249,000	249,000	0	
消耗品費	860,000	850,000	10,000	
光熱費	340,000	299,000	41,000	
印刷費	200,000	200,000	0	
賃借料	1,700,000	1,700,000	0	事務所賃料、リース代
交際費	200,000	200,000	0	関連団体、要請費
支払手数料	900,000	900,000	0	税理士・司法書士顧問料
雑費	421,000	408,000	13,000	
租税公課	20,000	20,000	0	
	8,310,000	8,208,000	104,000	
経常費用計	21,602,000	20,948,000	654,000	

第3号議案

一般社団法人日本病院薬剤師会 第59回通常総会報告

開催日：令和元年6月15日（土）

場所：ベルサール 日本橋

出席者：岸野 亨、町田 充 新井成俊（代理）、曾我部直美（書記）

議事：

一、協議事項

- （第一号）平成30年度事業報告
- （第二号）平成30年度決算報告
- （第三号）平成30年度監査報告
- （第四号）令和元年度補正予算
- （第五号）名誉会員の委嘱

二、重要報告事項

- （第一号）薬機法の改定について
- （第二号）調剤業務のあり方について
- （第三号）「病院診療報酬薬剤師業務のあり方に関する検討会」の設置

三、質問・要望

一般質問・要望事項

四、報告事項

- （第一号）日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forumの開催について
- （第二号）2020年度診療報酬改訂への反応
- （第三号）本年度の調査（病院薬剤部門の現状調査）について
- （第四号）本年度の調査診（診療報酬改定特別調査）について
- （第五号）平成30年度老人保健健康増進等の事業実績報告
- （第六号）地域医療連携実例集（Vol.2）
- （第七号）2019年度学術小委員会の編成

内容：

1. 協議事項

（第一号）平成30年度事業計画報告

I. 各部・各委員会関連事業

- ① 地域医療連携を推進するための取り組み
- ② 薬剤師による入退院支援業務についての検討
- ③ 医療安全への取り組み
- ④ 診療報酬改定への取り組み
- ⑤ 生涯研修への取り組み

- ⑥ 専門薬剤師認定制度への取り組み
- ⑦ 薬剤師養成のための薬学教育への取り組み
- ⑧ 臨床研究への対応
- ⑨ 日病薬誌の編集・発行等の取り組み
- ⑩ 広報活動推進への取り組み
- ⑪ 調査研究事業への取り組み
- ⑫ 会員増加に向けた取り組み
- ⑬ 医薬品情報に関する取り組み
- ⑭ プレアボイド報告への取り組み
- ⑮ 災害医療支援への取り組み
- ⑯ 規模別・機能別薬剤師業務に関する取り組み
- ⑰ 表彰関係等

II. 教育・研修等関連事業

- ① 第1回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum
- ② がん薬物療法認定薬剤師研修
- ③ がん専門薬剤師集中教育講座
- ④ 感染制御専門薬剤師講習会
- ⑤ 精神科薬物療法認定薬剤師講習会
- ⑥ 妊婦・授乳婦専門薬剤師養成研修
- ⑦ 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会
- ⑧ HIV 感染症薬物療法認定薬剤師養成研修
- ⑨ 中小病院薬剤師実践セミナー
- ⑩ 療養病床委員会セミナー
- ⑪ 新人研修
- ⑫ 実務研修会
- ⑬ CRC 養成研修会
- ⑭ CRC と臨床試験のあり方を考える会議
- ⑮ 薬剤師のための臨床研究セミナー
- ⑯ 治験事務局セミナー
- ⑰ 放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会
- ⑱ 医療情報システム講習会
- ⑲ e-ラーニング

III. 厚生労働省関連事業

- ① 地域医療基盤開発推進研究事業
- ② 老人保健健康増進等事業
- ③ 重篤副作用疾患別対応マニュアル改定事業
- ④ バイオ医薬品開発促進事業
- ⑤ 医療技術等国際展開推進事業

IV. 国際交流関連事

- ① 国際薬剤師・薬学連合国際会議 (FIP) への参加
- ② 第 53 回ミッドイヤー臨床薬学会議 (ASHP) への参加
- ③ 海外からの研修生等の受け入れ
- ④ 海外病院薬剤師との学術交流
- ⑤ がん薬物療法認定薬剤師・がん専門薬剤師海外派遣事業への取り組み

V. 関連団体等への協力 (役員等)

詳細は (P25 参照)

(第二号) 平成 30 年度決算報告があった。

(第三号) 平成 30 年度監査報告があった。

(第四号) 令和元年度補正予算があった。

(第五号) 名誉会員委嘱推薦者：白石正氏が山形県病院薬剤師会より推薦された。

2. 重要報告事項

(第一号) 薬機法の改定について

医薬品医療機器等行政をめぐる現状・課題と対応についての説明があった。

(第二号) 調剤業務のあり方について

平成 31 年 4 月 2 日に厚生労働省・生活衛生局総科長より公示された「調剤業務のあり方」の具体的な説明があった。

(第三号) 「病院診療所薬剤師業務のあり方に関する検討会」の設置についての説明があった。

委員長・委員の下、今後進めていく予定である。主な検討事項として

- ・調剤の概念
 - ・補助者 (薬剤助手等) の業務範囲
 - ・補助者 (薬剤助手等) に必要な研修の実施について
- が挙げられている。

3. 質問・要望

一般質問として東京都・大阪府・鳥取県・千葉県・要望事項として岐阜県からあった。

- ・調剤の在り方についてが 3 件
 - ・IT を活用した一元的・継続的な薬物療法を提供するための日本病院薬剤師会の取り組みについて
 - ・医薬品の供給不全への対応について
 - ・「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」が適応された。製薬企業からの医薬品情報提供や研修会の共催等を円滑に進めるあたり日病のコメントを求める。
 - ・事前に認められた医療行為 (薬物治療管理) ができる特定薬剤師 (仮) について
- それぞれの質問・要望に対し回答があった。

4. 報告事項

(第一号) 第2回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forumの開催について

第1回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forumは2019年6月15日～16日の日程でベルサール東京日本橋で開催される。次年度は同場所で2020年6月20日～21日での開催予定である。

(第二号) 2020年度診療報酬改定への対応

診療報酬改定要望事項を示した。

・重点要望事項6項目

①地域連携に関する評価

②働き方改革に関する要望

③抗菌薬適正使用支援加算の施設基準の要件緩和

④薬剤師の外来業務に関する評価

⑤病棟薬剤業務実施加算1（療養・精神病棟）の8週制度の緩和

⑥周術期に於けるチーム医療の評価

・一般要望事項が12項目ある。(P66参照)

(第三号) 本年度「病院薬剤部門の現状調査」の依頼について

(第四号) 本年度「診療報酬改定特別調査」の依頼について

回収率が良くない(40%以下)であり本年より2本立てとした。

是非提出をしてほしい。

(第五号) 平成30年度老人保健健康増進等の事業実績報告(別紙参照)

(第六号) 地域医療連携事例集(Vol.2)

・一般社団法人竹田健康財団竹田総合病院

・菊川市立総合病院

・尾道市立総合医療センター尾道市立市民病院

・医療法人社団和楽仁芳珠記念病院

・医療法人社団協友会介護老親保健施設横浜あおぼの里

(第七号) 2019年度学術小委員会が編成された。(P110参照)

以上

第4号議案 その他